

オルメサルタン OD錠 5mg 「日医工」
オルメサルタン OD錠 10mg 「日医工」
オルメサルタン OD錠 20mg 「日医工」
オルメサルタン OD錠 40mg 「日医工」

【この薬は？】

販売名	オルメサルタン OD錠 5mg 「日医工」 Olmesartan OD Tablets 5mg	オルメサルタン OD錠 10mg 「日医工」 Olmesartan OD Tablets 10mg	オルメサルタン OD錠 20mg 「日医工」 Olmesartan OD Tablets 20mg	オルメサルタン OD錠 40mg 「日医工」 Olmesartan OD Tablets 40mg
一般名	オルメサルタン メドキシミル Olmesartan Medoxomil			
含有量 (1錠中)	オルメサルタン メドキシミル 5mg	オルメサルタン メドキシミル 10mg	オルメサルタン メドキシミル 20mg	オルメサルタン メドキシミル 40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。

- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にオルメサルタン OD錠「日医工」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレンフマル酸塩を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・脳血管に障害のある人
- ・厳重な減塩療法中の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [アリスキレンフマル酸塩 (ラジレス)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	オルメサルタン OD錠 5mg 「日医工」 オルメサルタン OD錠 10mg 「日医工」 オルメサルタン OD錠 20mg 「日医工」 オルメサルタン OD錠 40mg 「日医工」		
一回量	開始量	通常量	最大量
	5～10mg	10～20mg	40mg
飲む回数	1日1回		

●どのように飲むか？

- ・口の中で溶かして飲む薬です。舌の上へのせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし、

水なしで飲むことができます。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。

- ・口の中で速やかに崩壊しますが、口の粘膜からの吸収により効果発現を期待する薬ではないため、崩壊後は唾液や水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- ・寝たまま飲む場合は、水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人に、高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では血液検査がおこなわれることがあります。
- ・一時的に急激な血圧の低下（失神、意識消失など）をおこすおそれがあるので、そのような場合には、ただちに医師に連絡してください。特に、透析中の人、利尿降圧剤を使用している人や嚴重な減塩療法中の人では十分注意してください。
- ・重篤な肝機能障害があらわれたとの報告があるので、体がだるい、白目が黄色くなる、吐き気などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・血圧が下がることにより、めまいやふらつきがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。

さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

(国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。









重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、お腹が張る
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
重度の下痢 じゅうどのげり	何度も水のような便が出る、下腹部の痛み、体がだるい、発熱

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、体がだるい、発熱、ふらつき、出血が止まりにくい、疲れやすい、けいれん、体のしびれ、体に力が入らない、脱力感、むくみ、体がかゆくなる、力が入らない
頭部	意識の消失、短時間、意識を失い倒れる、めまい、意識の低下
顔面	顔面蒼白、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、血の気が引く、鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	咳、喉のかゆみ、喉がつまる感じ、声が出にくい、歯ぐきからの出血、吐き気、嘔吐
胸部	息苦しい、息切れ、動悸
腹部	下腹部の痛み、お腹がすく、お腹が張る、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ、手足のふるえ
皮膚	全身のかゆみ、あおあざができる、じんま疹、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
便	何度も水のような便が出る、下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	オルメサルタン OD錠 5mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 10mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 20mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 40mg 「日医工」
PTPシート	 表面 裏面	 表面 裏面	 表面 裏面	 表面 裏面
形状	素錠 (口腔内崩壊錠)	割線入りの素錠 (口腔内崩壊錠)		
				
直径	6mm	6mm	7.5mm	9.5mm
厚さ	2.7mm	2.7mm	3.5mm	4.6mm
重さ	80mg	80mg	160mg	320mg
色	白色～微黄白色			
識別コード (本体表示)	オルメサルタンOD 5 日医工	オルメサルタンOD 10 日医工	オルメサルタン OD 20 日医工	オルメサルタン OD 40 日医工
識別コード (PTPシート)	Ⓝ146	Ⓝ182	Ⓝ183	Ⓝ184

【この薬に含まれているのは？】

販売名	オルメサルタン OD錠 5mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 10mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 20mg 「日医工」	オルメサルタン OD錠 40mg 「日医工」
有効成分	オルメサルタン メドキシミル			
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、カルメロース、スクラロース、アセスルファミウム、ステアリン酸カルシウム、香料			

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時 (土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く)